

代表理事候補	<p>(1) 田中 一彦 (たなか かずひこ)</p> <p>この度、代表理事として立候補しました松阪中央総合病院の田中一彦です。</p> <p>県士会活動には、平成6年より理事として、渉外部長、組織部長、副会長を務め、会長職は、平成27年度より4期8年間活動を行ってきました。</p> <p>県士会の活動は、作業療法士の質の担保と啓発事業が大きな活動だと考えています。</p> <p>三重県士会の活動の中には他県士会に自慢できる活動が多くありますが、現在の士会活動は、一部の理事、役員、部員に大きな負担をかけた運営となっています。優秀な人材を支える事が重要です。</p> <p>会員の皆様が県士会活動を自分事として取り組んでいただけるような活動を考えていきます。若い世代と中堅、ベテランがお互いの良さを出し合い運営できる組織を目指したいと思います。ご協力、ご支援よろしくお願ひします。</p>
理事候補	<p>(1) 伊藤 正敏 (いとう まさとし)</p> <p>この度初めて立候補させていただきます。昨年度より地域リハビリテーション部の部長を務めさせていただいています。地域に作業療法力を届けたいと思っています。作業療法士が活躍できるシステムの構築や、日常の業務の中でも活用できるような情報や研修を提供できるように心がけたいと思います。ベテランの方だけでなく、若手の会員の皆様が活躍でき、楽しく活動できることを目指し、理事として活動したいと思っております。皆様の協力を頂きながら邁進する所存ですのでよろしくお願いいたします。</p> <p>(2) 上野平圭祐</p> <p>私は福利部部長として会員の皆さんの交流の場となるイベントの企画・運営、倫理相談窓口業務に従事してきました。今後はイベント運営だけではなく、倫理問題に対するフォーマットの作成に取り組んでいきたいと考えています。皆さんのお役に立つことが出来るよう、活動を継続していきますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>(3) 大塚 美奈子 (おおつか みなこ)</p> <p>県士会員としての参加だけでなく、県士会行事の企画運営に携わったのは、2代目会長の永田会長のもと平成6年の10周年記念行事でした。その後、選挙管理委員3年、監事6年、作業療法技術検討委員会1年、作業療法推進部長6年 渉外部長8年を努めてまいりました。</p> <p>現在渉外部として三重県作業療法士会の魅力を広く知っていただけるよう行政や企業様、また学校関係の方々にお知らせし双方にとってメリットになるための活動を目標にしてまいりました。今後も三重県作業療法士会のことをご理解いただき県士会員の方、賛助会員様の繋がりをつくりたいと考えます。</p>

(4) 佐藤 明俊 (さとう あきとし)

この度、理事に立候補しました佐藤明俊です。平成 15 年に理事になり、今回の選挙で理事 11 期目になります。今回の選挙で理事として最後の任期と考えております。これまで 10 期を振り返りますと、時代の流れに合わせて県士会も大きく変化してきました。また、令和 3 年度より戦略企画委員会を立ち上げより先駆的に県士会を考え、5 か年計画を立案するなど模索しましたが、まだ十分な結果を作り上げることができておりません。今期更なる充実化を図り、後継育成も行いながらより良い県士会を作っていきたいと思っております。

(5) 島崎 博也 (しまさき ひろや)

私は平成 14 年度より三重県作業療法士会啓発部に所属しており、平成 29 年度より理事として活動しています。作業療法士が地域貢献を行う職種として必要とされるために、啓発イベントや公開講座、高校生作業療法体験・見学会を実施しています。

この数年は、新型コロナウイルス感染症の影響で啓発活動は制限されましたが、三重県作業療法士会のキャラクターとしてリハレンジャーの LINE スタンプ作成など行い、皆様にご利用いただけるように整えました。また、本年度より作業療法体験・見学会を再開していき、次世代の作業療法士を発掘する為に、高校生への啓発活動を軸として活動していきたく思います。多くの県民の方に対しては、公開講座など通して作業療法士を活用していただけるよう、様々な視点で啓発していきたく考えます。

今後も、県士会員の皆様が作業療法士として様々な所で活躍でき、満足いただけるよう理事として誠心誠意活動していきたく思います。

(6) 富中真悟 (とみなか しんご)

今回、教育部部長に立候補しました、三重県立総合医療センターの富中真悟です。作業療法士の発展と環境改善、取り巻く環境に変化が続いています。

日本作業療法士協会は人が地域で生きるために支援できる作業療法士教育の強化を提示し、作業療法士養成教育の強化・生涯教育では作業療法士臨床力の強化をあげています。

日本作業療法士協会との連携をとり、三重県作業療法士会に情報提供できるように努め、会員に十分な生涯教育制度を受講できるように計画・運営を行います。

三重県作業療法士会会員への力になれるように精進していきたく考えています。よろしくお願ひします。

(7) 渡邊誠 (わたなべ まこと)

この度、理事に立候補させて頂く藤田医科大学七栗記念病院の渡邊誠と申します。私は、これまで、広報部員として、県士会活動に参加してきました。また、昨年度に行われた、第 21 回東海北陸作業療法学会にも学術部の一員として参加してきました。作業療法士は、他の医療職より知名度が低いと言われております。臨床場面では、以前より、作業療法士の役割や認知度は向上して

	<p>きていますが、まだ世間には作業療法士の仕事内容や魅力が十分に理解されているとは言い難い状況です。私は、県士会活動を通じて作業療法士の役割や魅力を他団体に向けて発信し、作業療法士の知名度を上げることに貢献できれば良いと考えております。また、中高生の世代に、職業の魅力を理解してもらい、作業療法士を目指す人が少しでも増えるように尽力していきたいと思っております。どうか宜しくお願い致します。</p>
	<p>(8) 宮坂 裕之 (みやさか ひろゆき)</p> <p>このたび、一般社団法人三重県作業療法士会の理事に立候補させていただきました、宮坂裕之です。</p> <p>これまで、広報部長、運転と作業療法委員長として、広報誌の発行、研修会の運営に携わってきました。作業療法士や県士会に求められる役割は多岐にわたりますが、それらを効果的、魅力的に発信することが課題だと思っています。県士会理事として、作業療法士の活動をアピールするとともに、士会員の知識・技術の向上のための活動を進めていきたいと思っております。</p> <p>今回、引き続き、理事に立候補させていただきますが、法人の理事として微力を尽くしたいと思っております。よろしくお願い申し上げます。</p>
	<p>(9) 山本 泰雄 (やまもと やすお)</p> <p>これまで地域貢献などを目的とした事業部、地域リハビリテーション部での活動に携わってきました。また、昨年より学術部を担当し分野別の研修会、学会運営のサポートを行っています。今後も研修会や勉強会を通じて、会員の皆様への学術的な支援、日々の実践での悩みを共有できる場づくりや人材育成などの活動が必要であると考えています。引き続き尽力したいと思っております。何卒、ご支援賜りますようお願いいたします。</p>
<p>監事候補</p>	<p>(1) 橋本昌弘 (はしもと まさひろ)</p> <p>この度、監事に立候補いたしました橋本昌弘と申します。</p> <p>三重県作業療法士会では、渉外部部長、事務局長、会長、監事を務めてまいりました。その経験を活かし、作業療法士会の運営が将来に向けて、活発かつ適正になるように意見を述べていく所存です。どうぞよろしくお願い致します。</p>